

課題の整理(中間まとめ)

平成24年7月3日 第5回検討委員会現在
与謝野町庁舎統合検討委員会

●総合庁舎方式への移行について

課題	主な意見	方針(中間まとめ)
防災体制について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合庁舎にすることが防災体制の強化になるとは思えない。 ○ 消防団員が少ない中、火事の際に団員である職員がすぐに現場に向かうことができなくなり、防災の面からだけで言えば分庁舎方式がベターである。 ○ 加悦庁舎を総合庁舎とする場合、岩滝、野田川地域の防災体制が大きな課題となる。 ○ 災害時に庁舎が一つであれば統一した命令系統がとれるのではないか。 ○ 防災面だけで言えば、3庁舎に分かれて運用している現在の方式がよいと考える。 ○ 庁舎は一つの庁舎が壊れても残った庁舎で対応できるなど分散している方がベスト。更に言えば中心地に一つあるのが望ましい。 ○ 情報が集めやすい、人が集まりやすいということも考えて検討すべき。 	
庁舎統合による効果について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1, 200万円の削減効果とあるが、他の効果額も含め可能な限り数字として示してもらいたい。 ○ 庁舎問題をコストの削減だけではなく、庁舎機能、政策能力向上といった面からも考えてほしい。 	
統合にかかる庁舎の改修について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 加悦庁舎に統合されたら3億8500万円いるということだが必要ない。 ○ 必要な庁舎面積は、実際にこの面積が必要なのか。加悦庁舎という案だが、庁舎の改修を行わなくても入るという案はあるのか。人員配置は今後減っていくことを見越した形で配置計画が描けているのか。 ○ 加悦庁舎の改修費用が3億8, 500万円とあるが費用の修正もありうるのか。 	

課題	主な意見	方針(中間まとめ)
合併特例債の発行期限について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発行期限が5年間延長されるようであり、庁舎問題も年数をかけて検討すればよいのではないか。 ○ 合併特例債が延長されても交付税の一本算定年度は替わらないのか。 ○ 発行期限が平成27年度とあるが、どの時点で発行ができなくなるのか。 ○ 合併特例債が5年間延長されるのであれば、平成32年度までに実施してもよいのではないか。 	
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合庁舎への提案が突然出てきた感じがおり、今何故なのかという思いがある。 ○ 今ここで町が2分するような総合庁舎にする必要があるのかと思う。 ○ 分庁舎のままとなった場合に野田川庁舎本館はどうするのか。 ○ 野田川本館の税務、住民環境、地域振興の3課は加悦庁舎に移らなければならないのではないか。 ○ 住民に対するサービスが低下しない限り、3つに分かれていても1つになってもどこでもよいと思う。 ○ 現状の3庁舎を残して進めることが必要だと思う。 ○ 役場の機能は職員が入るだけでなく、庁舎機能を発揮するには十分な民意を反映できる会合の場を有していることも必要で、今の案ではその機能が全くついていない。 ○ どこまでのサービスがしてもらえるのが課題であり、基本的には従来のサービスができるかである。 ○ 窓口業務に集中した議論となっているが、負担とサービスの議論も必要だが、岩滝ではあのような運動もされており、そういったことを斟酌して検討していく必要がある。 ○ 早く結論を出した方がよいと思うので、早くやっていただきたい。皆さんの腹の中ではそれぞれ考えておられると思う。住民感情もあるので、そういった中での協力体制も必要だ。みんなが良い方向にするにはどうしたらよいかを決めていくべきだと思う。 	

●支所機能について

課題	主な意見	方針(中間まとめ)
窓口対応について	<ul style="list-style-type: none"> ○ サービスが低下すると言われるが、窓口以外でここに行きたいという方がどのくらいあるのか。窓口業務は各地域に配置されていると聞いている。 ○ 障害者の声は、福祉課や保健課が加悦にあるので不便だと思っていたら、加悦に行ったことはなく地域振興課で用務を済ませてもらっている、このような機能やサービスが継続されるのなら本庁がどこにいてもよいのではないかな。 ○ 2庁舎にとりあえず2人置いたらよいというものではない。岩滝に本庁を置けと言っているのではなく、サービスが低下しないようにしてほしいということである。 ○ 今の分庁舎方式でもOKかとも思う。他の方法もあるのではないかな？ ○ 窓口業務として地域防災は残す必要があるなど、サービスの在り方を真剣に考える必要がある。 ○ 現在は3庁舎窓口で基本的にすべての業務に対応してもらっているが、今の案ではいわゆる門前払いとなってしまう、足の便がない人にとっては不便となる。 ○ 窓口の職員はどの職員でもできるし、交代でやるようにすれば最小限の人員配置ですむと思う。 	
地域振興課について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、18名が地域振興課の仕事をしていて、統合すると11名の職員が他課に配置できるということか。 ○ 統合しても窓口さえ置いてもらって今までのように対応してもらえるのであればそれでよい。 ○ 地域振興課が担っている業務をどうするかが大きな判断基準である。 ○ 障害者の意見としては、第1次窓口は近いところがよいが、門前払いということではサービスの低下になるので、諸証明の発行と公金収納業務だけではだめだと思う。 ○ 財政的な面で削減効果にあがっているが、地域振興課のメリットも議論してほしい。 ○ たたき台に示されている地域振興課の業務をもっと増やす考えはあるのか。 	

課題	主な意見	方針(中間まとめ)
地域振興課について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現状では地域振興課は何ら決済権がないし、相談する時は原課に行っている。こだわる必要はないのではないか。 ○ 地域振興課が何故必要かという、地域のことを知った職員がいて、役場に行きやすい環境を整えることが必要ということ。 ○ 地域振興課の廃止による人件費削減効果が約3,850万円(年)と聞いているので、この改善だけでもできるのではないか。その上で庁舎統合について検討する必要があるのではないか。 	
庁舎の活用について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支所となる庁舎をどのように利用するかということを視野において検討してほしい。 ○ 庁舎の活用方法はどうされるのか。他の団体に貸す所が本当にあるのか。 	

●住民サービスについて

課題	主な意見	方針(中間まとめ)
住民サービス全般について	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート調査で、サービスが向上したと感じる人のほうが多いのを見ると、現状の分庁舎方式がよいと考えられるのではないかな。 ○ 町の案は職員の利便性だけで、町民は現状に不満を感じてはいないと思う。庁舎が加悦に行けば不便を被る人が増えると考えられる。 ○ 加悦に庁舎が行った場合、野田川、岩滝の高齢者などはどのような足の確保が考えられるのか。 ○ どうしても本庁に行かなければならない場合は地域間のバスを出してもらうなど、その手段を考えてもらえればよい。 ○ 当町のひまわりバスの現状では、朝行って夜帰ってくるしかない。 ○ ひまわりバスを走らせるより、公共交通を使いやすく支援する方がよいと思う。 ○ 町の責任だけではなく、住んでいる方の責任についても考えなければならない。ほしいばかりでは駄目である。 ○ 一般企業のように収支も大事だが、町の役割というものもある。 ○ 住民サービスを重視されるのではなくて行政効率を重視されている。お金がかかっても住民サービスが上がるようなことを考えてほしい。 ○ 統合した場合、サービスが低下しないようにと言われるが、将来はなくなると危惧している。交通の不便なこの地域では困る。ひまわりバスなどの公共交通の充実を考えているのか。 ○ 先を見越した住民サービスは何なのかを考えると、あれもこれもしてほしいというような求めることばかりではなく、自分にできることを考えていく必要がある。 ○ 今後、人件費は更に高くなる。パートさんをお願いできることは任したらいい。 ○ バイパスが通っているので移動にはあまり時間はかからない。違う視点でみんなが譲り合っていけばそれなりのものができあがっていくのかなと思う。 	